

## 第39回 高輪築堤調査・保存等検討委員会【部会②】

日時：2024年1月10日（水）

部会②・部会③ 10:00～12:00（予定）

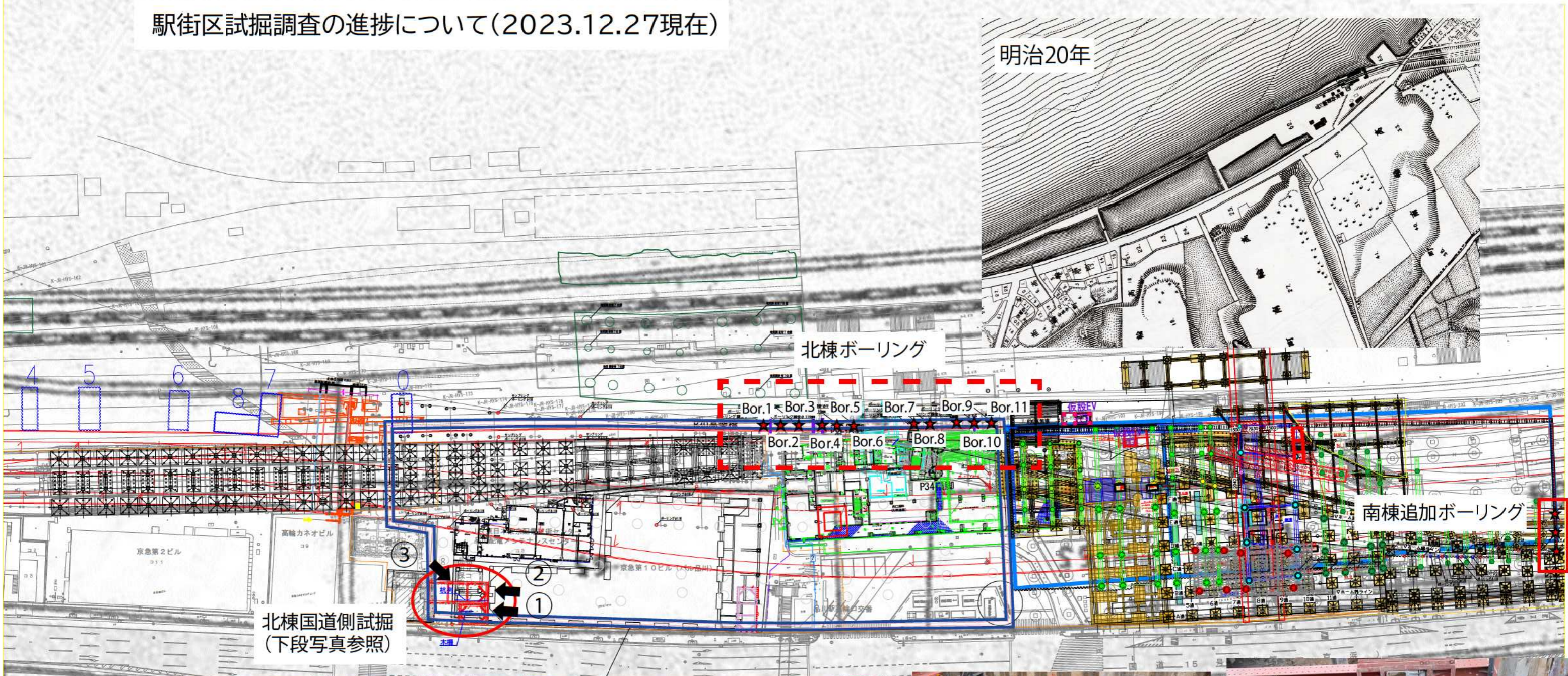
場所：JR東日本現地会議室

### 次 第

#### 【部会②】

- (1) 開会
- (2) 調査の進捗について 【資料1】
- (3) 京急線連立 遺構への影響低減に向けた仮設計画の見直しについて 【資料2】
- (4) 橋上駅舎躯体工事における山留め部の薬液注入工事について 【資料3】
- (5) その他
- (6) 閉会

駅街区試掘調査の進捗について(2023.12.27現在)



①国道側試掘 (2023.9.27)



②国道東側試掘 (2023.12.27)



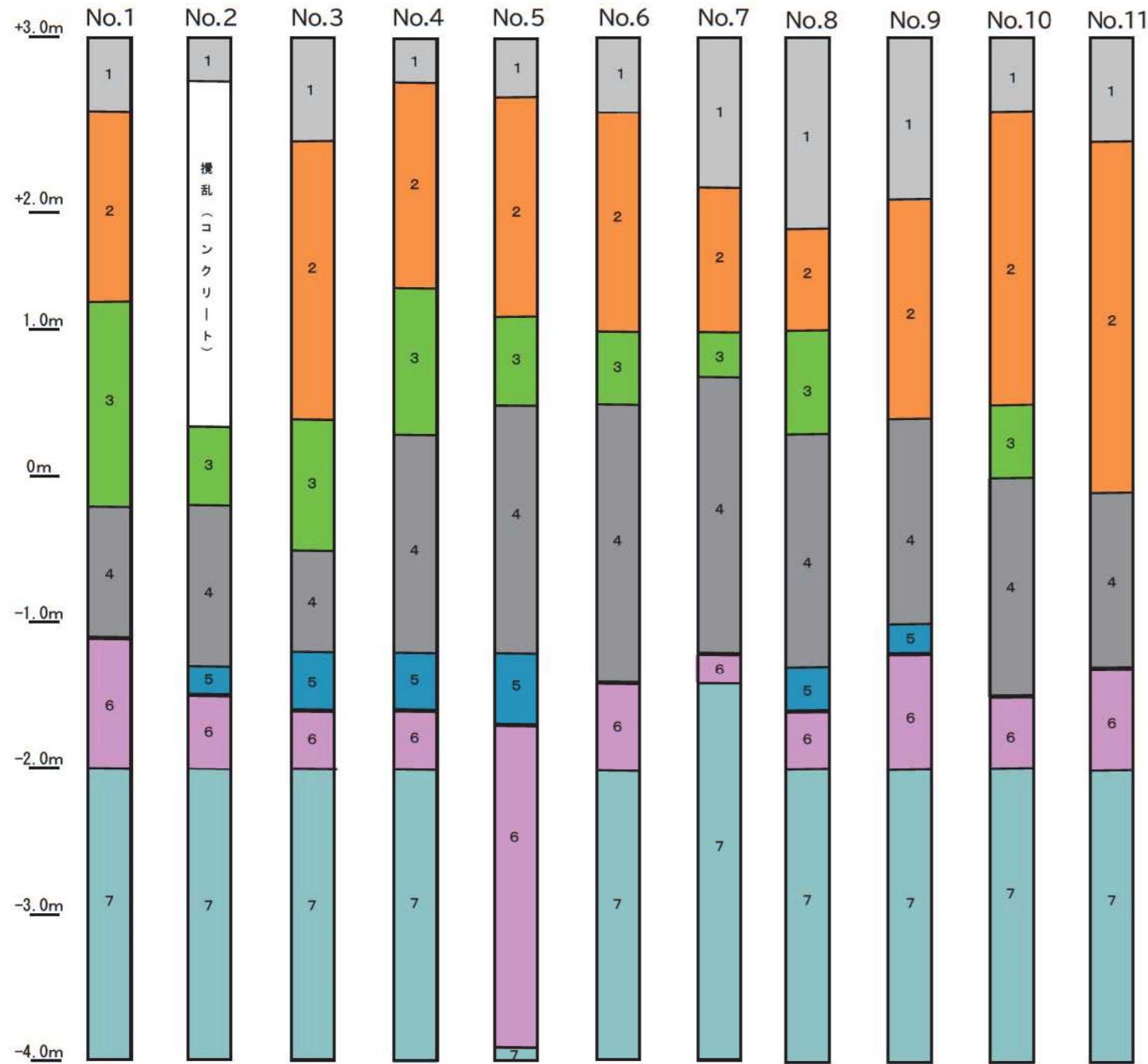
③国道東側試掘 (2023.12.27)



【参考】交通局の調査 (2023.3.13)

# 北棟東側 SMW 打設に伴うボーリング調査の成果

(調査実施期間：2023年11月21日～25日 ※No.2は12月11日～16日)

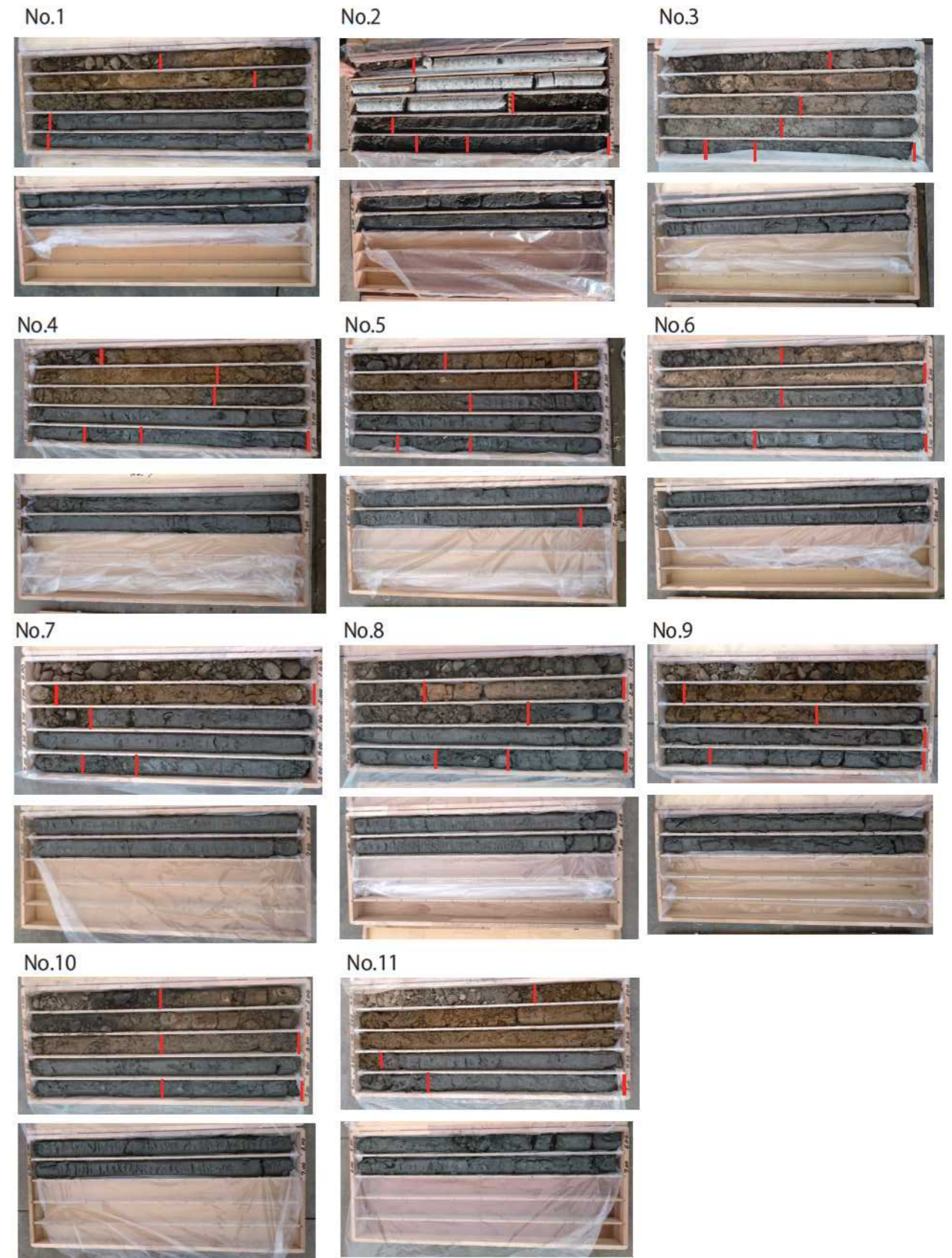


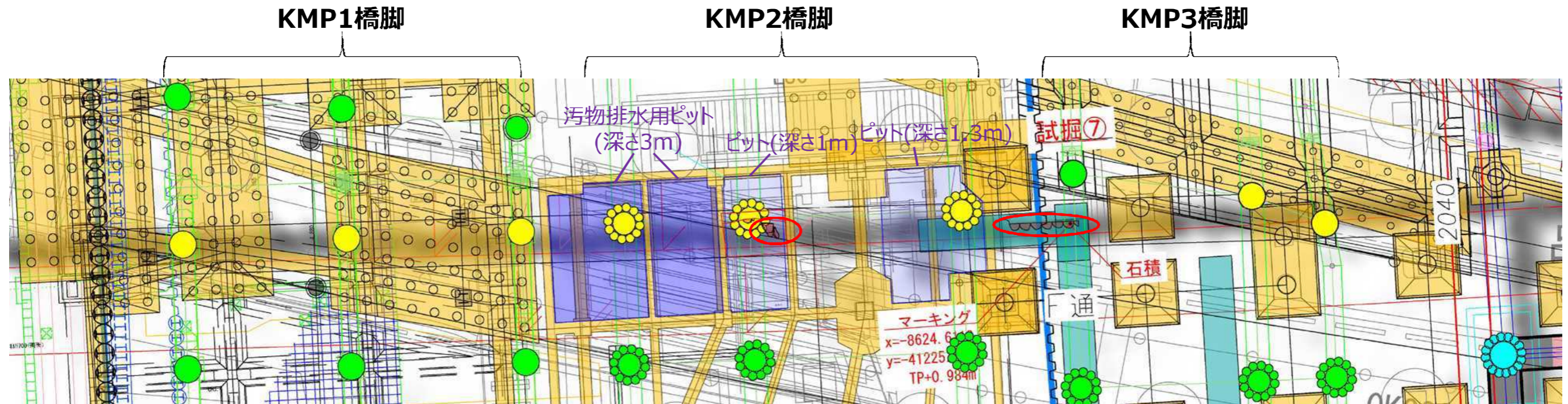
※柱状図は S=1/40、標高値は TP

- 1：バラスト層
- 2：埋立て土 (黄褐色年度ブロックを含む土)
- 3：円礫砂利層 (しまりなし)
- 4：黒褐色粘質土 (泥土)
- 5：暗灰色シルト層 (貝が混じる、海砂?)
- 6：軟質粘土層 (砂質強い)
- 7：硬質粘土層 (高輪築堤の基盤層)

### 【調査所見】

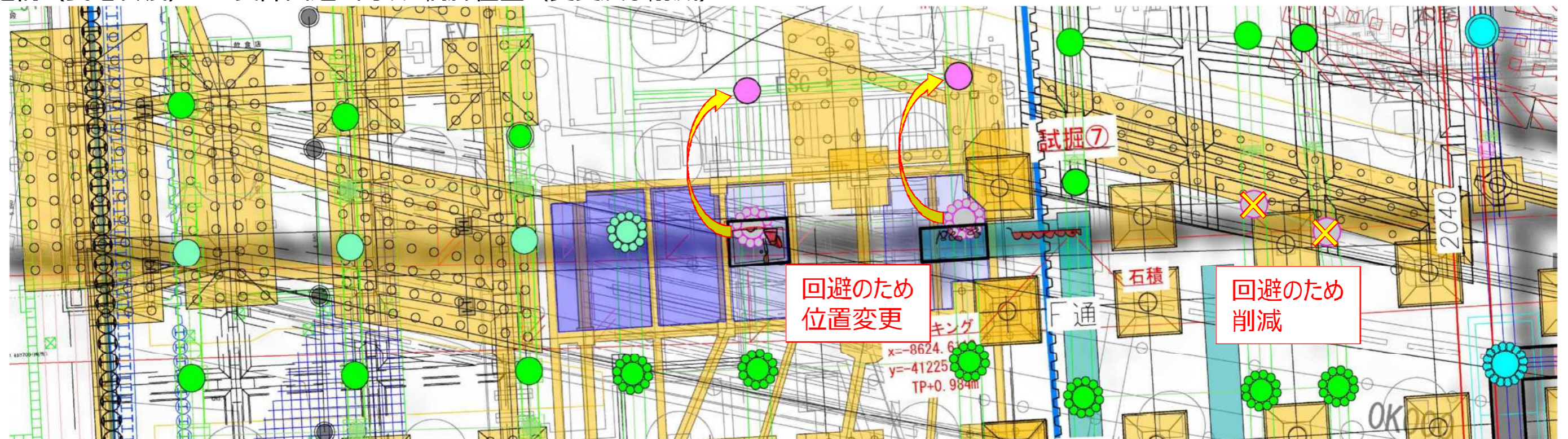
- ・ 4層 (泥土) の直上にローム土主体の埋立て土が乗る点は、周辺の調査所見と概ね一致する。
- ・ 3層は周辺の調査で確認されていない。
- ・ 基盤である硬質粘土層は、すべての地点で確認されており、検出標高は TP-1.5 ~ 2.0m である。
- ・ No.5 は、硬質粘土層の検出標高が著しく低いが、その原因が人為的なものか、自然 (地形等) によるものかは判別できなかった。
- ・ ボーリングコア中に遺物や、構造物の一部 (木片等) は確認されていない。





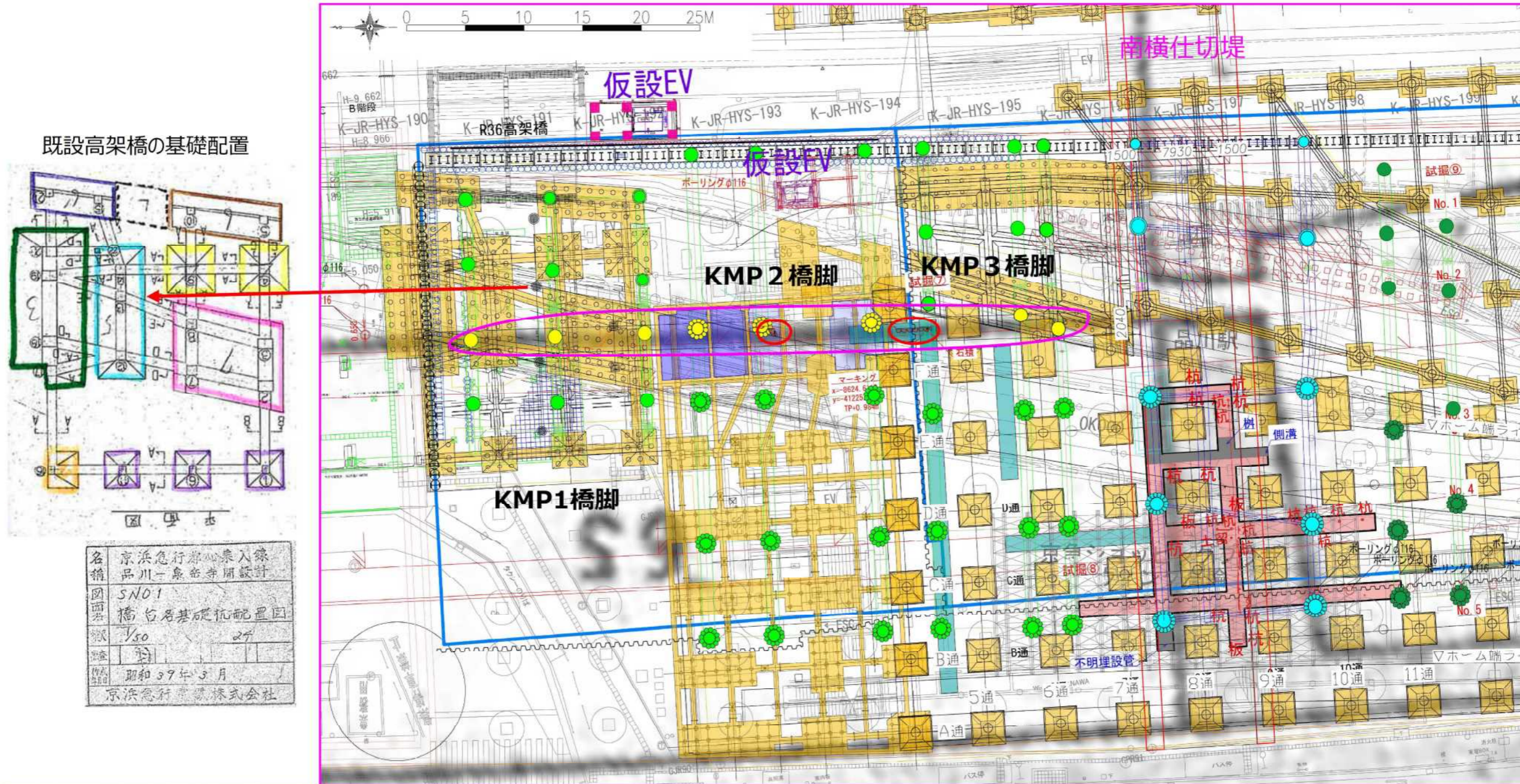
2023.11.1 第37回高輪築堤調査保存等検討委員会 部会② 資料2より

遺構（民地石積）への支障回避に向けた橋脚位置（変更及び削減）

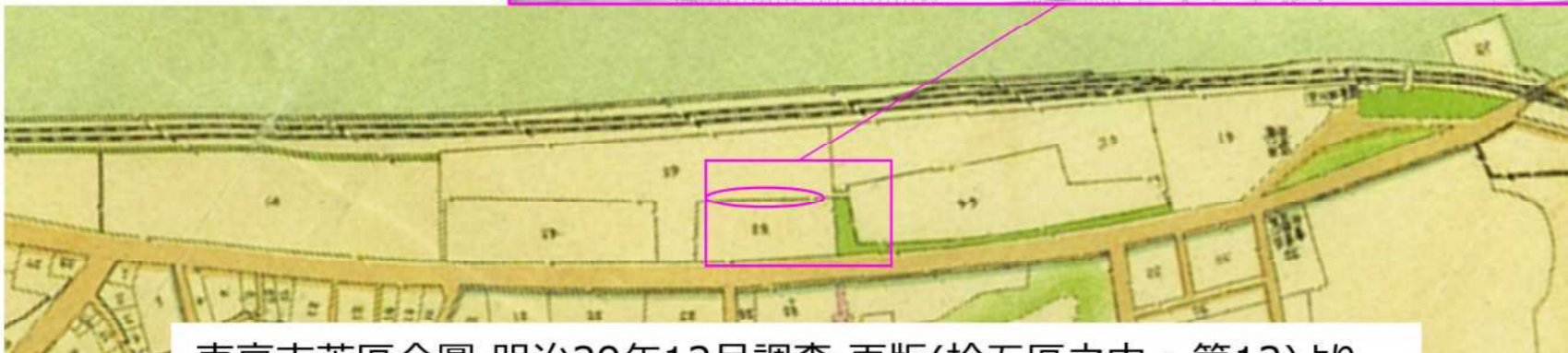


- 凡例
- ...既設高架橋の基礎
  - ...計画仮橋脚杭
  - ...民地埋立護岸に支障可能性のある杭
  - ...想定南横仕切堤を回避し打設
  - ...汚水溜ピット(深さ3m)
  - ...既存高架橋杭やピットにかかる計画仮橋脚杭
  - ...護岸回避のため位置変更や削減する杭
  - ...位置変更した杭

1. 南横仕切堤以北（自由通路まで）の仮橋脚杭計画の状況



名称	京浜急行線入線品川一乗巻寺開設計
図面番号	SNO1
図面名称	橋台名基礎杭配置図
縮尺	1/50
作成	昭和39年3月
作成者	京浜急行線株式会社

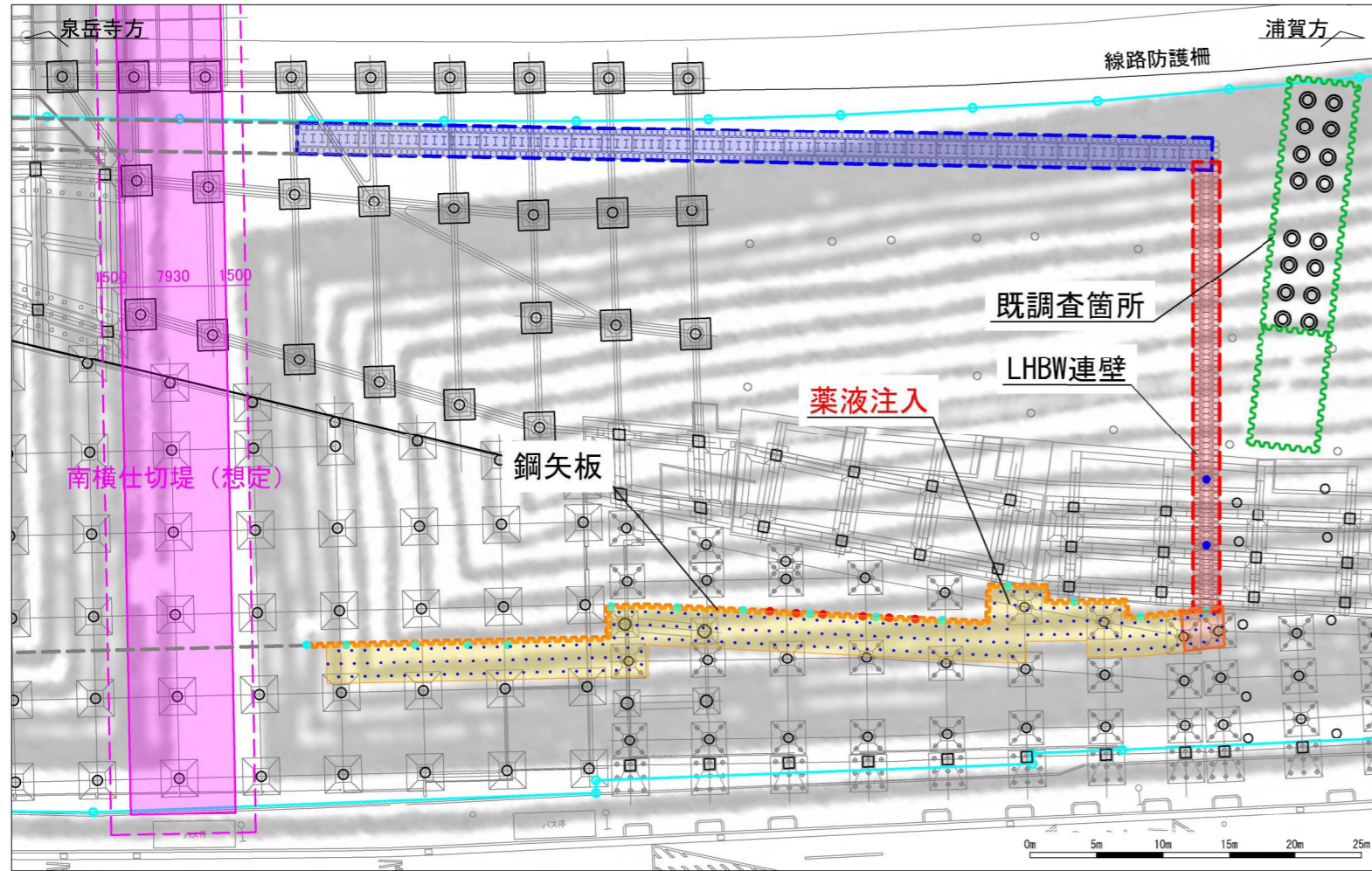


東京市芝区全圖 明治29年12月調査 再版(拾五區之内；第12)より

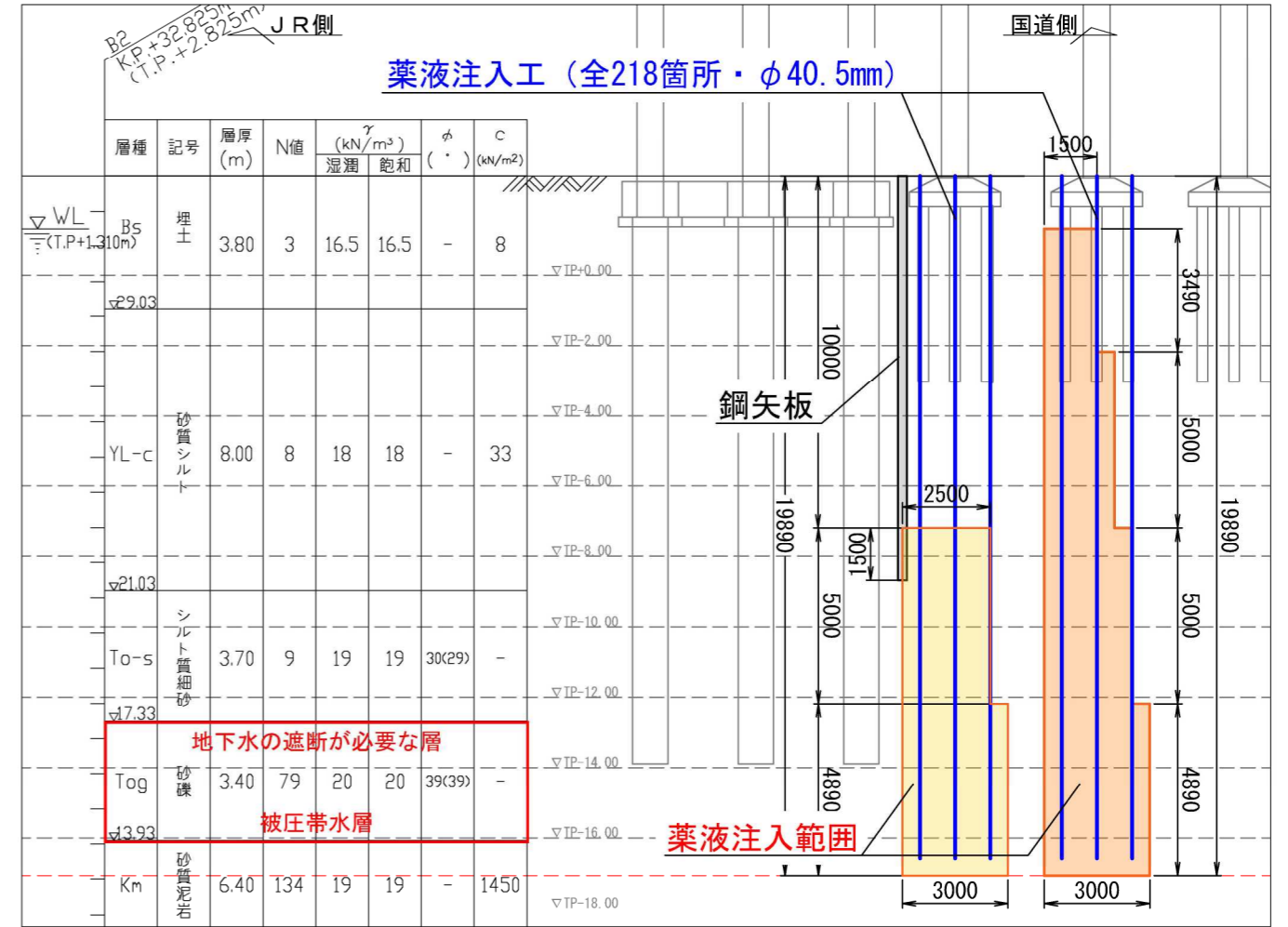
凡例

- ... 計画仮橋脚杭
- ... 民地理立護岸に支障の可能性(本件箇所)
- ... 汚水溜ピット(深さ3m)
- ... 想定南横仕切堤を回避し打設許可
- ... 水溜内試掘結果により打設許可
- ... 既設高架橋の基礎

全体平面図



断面図



※2種類の薬液注入工は実際は南北の配置だが、上記断面図では表現上離して東西に並べて作図。

平面拡大図

